



京都・観世流能楽師が来島  
能への説明会2011年弓削神社

来る9月24日(土)、京都から、シテ方観世流準職分、吉田篤史さんが来島し、弓削神社で能の体験ワークショップを開催します。主催は私たち「弓削・能プロジェクト」(代表・竹林清志)。能は鎌倉時代から脈々と続く日本の伝統芸能。特に子どもたちが能に触ることで日本文化の香りを感じるとともに、島の良さや風土文化もあらためて見つめるきっかけになればと考えています。

今回はまず小学生の保護者の方々を中心に能を体験してほしいと企画しました。今後は小学校でもワークショップを展開していく計画。お問い合わせは同プロジェクト(yuge.nou@gmail.com)まで。

(文責:弓削・能プロジェクト  
宮田周平)



写真: シテ方 観世流準職分能楽師 吉田篤史氏  
撮影: 村上アーカイブス 村上宏治氏

これが地震津波ではなく、原子炉の操作ミス、つまり人災であると言わ始めた。何が本当で何がウソなのかさっぱりわからない。加えて原発事故。これも地震津波ではなく、原子炉の操作ミス、つまり人災であると言わ始めた。何が本当で何がウソなのかさっぱりわからない。加えて原発事故。

(平山和昭)

## 想像は力

安藤朋生 茨城県

時々心が折れかかるとき決まって向かうのは茨城やお隣の県にある焼き物の町。そこで出会う作品の一つ一つを丁寧に見て回るのが私のリフレッシュ法。何を買うでもなく見て回り、店員さん達と少しお話する、これが元気を取り戻す方法。

最近の更なるリフレッシュ法は、古道具屋さん通り。所狭しと椅子やテーブルが重なり合い、鉛色に熟した古箪笥がこれでも



かと置かれている狭い通路を、何か引っかけないように歩き回り1巡して一息つく。そうしてやっと好きな物の所へゆっくりと近付く。

手回しかき氷機や、今ではプラスチック製になってしまった海玉、誰か分からない人達の写真、私も大好きで沢山持っているガラス製の実験器具たち。あれやこれや手にしては置き歩き回っていると“何か良い物はありましたか?”と声が。振り返ると店の主人が私の動きを見ていた様子。どれもいい

## 天災人災防災減災

3・11から学ぶこと  
「自然災害に強い」ではなく「大きな自然災害の少ない」瀬戸内海に住んでいると、この度の東日本大震災は、やはり遠い地の出来事としてこの地の人々の関心事から遠のいてゆくのだろうか。この地にて近未来に大震災が予測されていて、いつ未會有と呼ばれる災害に見舞われるかわからない。

東日本大震災は復興の道筋がまだ見えていない。被害を大きくしたのは気象庁の情報の出し方に問題があつたとする「人災論」も根強い。加えて原発事故。

### 聞うことは学ぶこと 学んだあかしは 変わること



祝島の人々の反対理由はシンプルだ。原発冷却系の排水(海水から取り入れ海に戻す)に放射能が混入すれば瀬戸内海一円の海産物に放射能汚染と書いた赤

震災に連動した東電福島第一原発のメルトダウン(溶融)と呼ばれる最悪の事態でまさまで見せてくれている。

祝島の人々

がいつかは成る。問題は、その“いつか”が十年なのか二十年なのか、あるいは百年単位なのか。原発は百年単位の部類だと誰もが知つてはいる。が今の

ところ脱原発に国の舵が切り変わりそうもない。

災害からの復興は時間がかかるがいつかは成る。問題は、それがいつかが十年なのか二十年なのか、あるいは百年単位なのか。原発は百年単位の部類だと誰もが知つてはいる。が今の



⑯

ースと小振りな海玉。

海玉を真剣に選んでこれだとと思う1つを見つけ出した瞬間、店主に見る目あるねえ~と。何やら店主喜んでいるような…? また来な。今度来る頃また好きな物揃えとくからと店主。

古道具屋にちょっとやるなと思われたような、私の好きな物を見て集めてきた目が少し認められた気分。少しのことでもが明るくなるなんて単純かもしれない。

海を見て黄昏れる島の生活を想像する。古き良き物に触れる時と同じ、想像は心を豊かにする。どんな時も心が曇ってしまうないように想いを馳せて。

## 祝島漁民の「闘う」意味

いわいしま  
たなか

たなか

再び「祝の島」を見る  
毎月十五日NPO「頼れるふるさとネット」の活動拠点・やよい亭で開かれる映画研究会で先般原発をテーマにした映画を研究した。山口県上関町(長島)に中国電力が建設を予定している原発に三十年間反対し続けている、建設予定地の真向かいにある祝島の人々を取材した記録

札がついてしまう。そうなれば瀬戸内全域の海産物、ひいては日本のそれに決定的なダメージを与えるてしまう。自分たちには父祖伝來のよい自然環境を、汚さず子孫に残す義務がある。だから原発を作るのは反対だ。電力会社は放射能漏洩はない

と言い切る。

### 目先の経済優先でいいのか

汚染という札がついてしまえばどうなるか。食品の風評被害でどれだけこの国の経済が打撃を受けるかは、これまで日々目に明らかだ。原発は安全とされ

た前提が崩れてしまった今、実際には食品が危険かどうかが消費者の判断基準ではない。ヨーロッパの店頭に日本産食品が並ばなくなつたと伝えられる。

この九月二十日は上関町長選挙の告示日。原発推進派の現職が圧倒的有利とされる。背景には様々なものがあつたが、もう

は我が身に降りかかるねば目覚めぬ彼の人々の、これは哀しい性なのかな。実は我が町も中国電力の電気を使つていて。

この九月二十日は上関町長選

挙の告示日。原発推進派の現職

が圧倒的有利とされる。背景に

は様々なものがあつたが、もう

</